

各 位

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目27番5号
会 社 名 株式会社出前館
代 表 者 代表取締役社長 藤井 英雄
(コード番号：2484 東京証券取引所 JASDAQ市場)
問 合 せ 先 財務経理グループ
TEL：050-5445-5390
URL：<https://corporate.demaecan.com/>

(訂正・数値データ訂正)「2021年8月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年10月14日に発表いたしました「2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2021年12月28日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び2021年8月期決算短信の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正の箇所には___を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月14日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demae-can.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 英雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO 経営企画本部長 (氏名) 矢野 哲 (TEL) 050-5445-5390
 定時株主総会開催予定日 2021年11月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	28,954	180.7	△19,157	—	△19,148	—	△21,869	—
2020年8月期	10,315	54.7	△2,687	—	△2,984	—	△4,176	—
(注) 包括利益	2021年8月期 △21,858 百万円 (—%)		2020年8月期 △4,288 百万円 (—%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	△265.99	—	△125.1	△68.7	△66.2
2020年8月期	△75.01	—	△26.7	△14.1	△26.1
(参考) 持分法投資損益	2021年8月期 15 百万円		2020年8月期 11 百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	20,380	6,875	32.2	79.73
2020年8月期	35,376	28,415	80.3	345.59
(参考) 自己資本	2021年8月期 6,555 百万円		2020年8月期 28,412 百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	△16,419	△2,346	△3	10,196
2020年8月期	△1,498	△449	28,728	28,966

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年8月期(予想) 配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2022年8月期の連結業績予想 (2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益	
	百万円	%
通 期	△55,000 ～△50,000	—

デリバリー市場を取り巻く環境は変化が激しく、当社の業績に大きく影響を与える可能性があることから現時点で想定しうる範囲内において※GMV3,300億円、営業利益はレンジで△500億円から△550億円を見込んでおります。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で速やかに公表します。

※GMVとは流通取引総額をいい、2021年8月期におけるGMVは1,627億円です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	85,486,500株	2020年8月期	85,486,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期	3,267,074株	2020年8月期	3,271,074株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	82,217,782株	2020年8月期	55,680,830株

(参考) 個別業績の概要

2021年8月期の個別業績（2020年9月1日～2021年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	28,410	202.7	△19,213	—	△19,227	—	△21,927	—
2020年8月期	9,384	73.9	△2,825	—	△3,143	—	△4,281	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期	△266.70	—
2020年8月期	△76.90	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年8月期	20,319		6,897		32.4	80.00		
2020年8月期	35,308		28,495		80.7	346.57		

(参考) 自己資本 2021年8月期 6,577百万円 2020年8月期 28,493百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、2021年10月14日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催と同時に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきまして、当社グループは「デリバリーの日常化」を実現すべく、出前館の拡大に向けた取り組みを継続的に行ってまいりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、多くの地域で緊急事態宣言等の蔓延防止措置が発令され、飲食店においては店内飲食の営業時間短縮要請等によって引き続き厳しい経営環境に置かれています。

そのような状況下、より多くの飲食店にご加盟いただくため、シェアリングデリバリー®のエリア拡大を積極的に進めてまいりました。サービス展開を加速し、当期においても、新たに22県でサービスを開始。サービス対応エリアは47都道府県に広がり、シェアリングデリバリー®は2017年に本格的に始動して以来、5年で全国展開を果たすことができました。

また、シェアリングデリバリー®のサービス拡大に伴い、加盟店の増加が加速しました。増加する加盟店に対しては、主要都市に営業拠点を置くことで、売上拡大に繋がるコンサルティングを強化しております。

ユーザー利用の拡大については、テレビCMをはじめとしたブランドの訴求や様々なキャンペーンを実施したことに加え、2020年11月10日よりLINEアカウントとの連携及びLINEアプリ内での『出前館』アイコンの掲出を開始し、LINEユーザーへの『出前館』の訴求を強化したことで、ユーザー数及び利用の促進につながりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は28,954,409千円（前期比180.7%増）と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は19,157,250千円（前期は2,687,393千円の営業損失）、経常損失は19,148,070千円（前期は2,984,007千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は21,869,010千円（前期は4,176,652千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

区分	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)		当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
出前館サービス利用料	5,724,575	55.5	10,966,249	37.9	5,241,674	91.6
配達代行手数料	2,324,379	22.5	15,970,750	55.2	13,646,371	587.1
その他	1,335,409	12.9	1,473,875	5.1	138,465	10.4
小計	9,384,364	91.0	28,410,875	98.1	19,026,511	202.7
通信販売事業	931,203	9.0	543,533	1.9	△387,669	△41.6
合計	10,315,568	100.0	28,954,409	100.0	18,638,841	180.7

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<出前館事業>

出前館事業セグメントにおきましては、当連結会計年度末におけるGMVは1,627億円（前期比58%増）となりました。あわせて、アクティブユーザー数は734万人（前期比87%増）、加盟店舗数は8.4万店（前期比156%増）、シェアリングデリバリー®の世帯カバー率に関しましては56%となり、中期経営計画に沿った拡大が順調に進みました。

その結果、当連結会計年度のセグメント売上高の内訳は、出前館サービス利用料10,966,249千円、配達代行手数料15,970,750千円、その他1,473,875千円となり、セグメント売上高は28,410,875千円（前期比202.7%増）となりました。

<通信販売事業>

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行っておりますが、引き続き新型コロナウイルス拡大に伴う飲食店の営業縮小の影響を受け、当連結会計年度のセグメント売上高は543,533千円(前期比41.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で14,928,096千円減少し、20,042,646千円となりました。主な要因は、未収入金が3,328,383千円増加した一方、現金及び預金が18,769,258千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で68,147千円減少し、337,393千円となりました。主な要因は、建物及び構築物が18,564千円、投資有価証券が27,279千円増加した一方、差入保証金が75,728千円、投資その他の資産のその他が29,608千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で14,996,243千円減少し、20,380,039千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で6,169,484千円増加し、13,085,957千円となりました。主な要因は、未払金が6,251,512千円増加した一方、未払法人税等が59,706千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で373,902千円増加し、418,283千円となりました。主な要因は、預り保証金が362,661千円増加したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で6,543,387千円増加し、13,504,240千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で21,539,631千円減少し、6,875,798千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失21,869,010千円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、10,196,926千円となり、前連結会計年度末と比較して18,769,258千円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、16,419,301千円(前連結会計年度は1,498,913千円の減少)となりました。主な増減の内訳は、税金等調整前当期純損失21,782,711千円のほか、減損損失2,526,457千円、減価償却費17,761千円、未収入金の増加3,328,383千円、未払金の増加6,129,601千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、2,346,773千円(前連結会計年度は449,248千円の減少)となりました。主な増減の内訳は、無形固定資産の取得による支出2,267,502千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、3,183千円(前連結会計年度は28,728,621千円の増加)となりました。主な増減の内訳は、新株予約権の発行による収入2,043千円、その他の支出5,677千円等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期
自己資本比率	60.8	50.1	39.8	80.3	32.2
時価ベースの自己資本比率	1,499.4	2,083.9	855.2	536.6	628.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1	1.9	8.2	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	55.2	836.4	41.8	—	—

・自己資本比率：自己資本/総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当社グループにおいて、更なる成長に向けて事業基盤の構築を最優先とする時期と判断し、2021年9月には資金調達を実施し、マーケティングやシステム開発、配達員の増強など大規模な投資を実施することにより「出前館事業」の拡大を加速させ「フードデリバリーの日常化」を推し進めてまいります。

こうした状況を踏まえ、2022年8月期の連結業績予想は、現時点で想定しうる範囲内においてGMV3,300億円、営業利益はレンジで△500億円から△550億円を見込んでおります。

記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、積極的な事業展開のもと、経営基盤の強化、経営効率の改善を図ることにより企業価値を高め、株主の皆様に対して継続的かつ安定的に利益還元を図ることを基本方針と位置付け、将来に向けた積極的な投資を行うつつも、配当性向は30%を目安とする一方、安定的に継続して実施することも目指しております。

当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本的な方針としております。なお、会社の業績に応じた株主の皆様への利益還元を柔軟に実施するため、当社は「毎年2月末日を基準日として、取締役会の決議をもって、株主または登録株式質権者に対し、中間配当として剰余金の配当を行うことができる」旨を定款に定めており、これらの剰余金の配当については、期末配当は株主総会、中間配当は取締役会を決定機関としております。

なお、当期の期末配当金につきましては、2021年10月14日に公表しております「剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」にてご案内している通り、無配とさせていただきます。

(配当予想が困難な理由)

経営成績、財政状態、配当性向及び将来の事業展開のための内部留保の充実などを総合的に勘案しつつ、機動的に判断しているため、次期の配当予想については記載していません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの多くの利害関係者は、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,966,185	10,196,926
受取手形及び売掛金	134,904	290,586
商品及び製品	56,280	59,464
未収入金	5,780,400	9,108,784
その他	99,034	475,750
貸倒引当金	<u>△66,062</u>	<u>△88,866</u>
流動資産合計	<u>34,970,742</u>	<u>20,042,646</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,898	74,399
減価償却累計額	<u>△37,146</u>	<u>△40,082</u>
建物及び構築物(純額)	15,751	34,316
その他	213,809	225,554
減価償却累計額	<u>△178,100</u>	<u>△188,248</u>
その他(純額)	35,708	37,306
有形固定資産合計	51,460	71,623
無形固定資産		
ソフトウェア	9,441	6,802
その他	138	138
無形固定資産合計	9,580	6,941
投資その他の資産		
投資有価証券	182,722	210,002
差入保証金	111,275	35,547
繰延税金資産	13,277	12,896
その他	38,790	9,182
貸倒引当金	<u>△1,567</u>	<u>△8,800</u>
投資その他の資産合計	<u>344,499</u>	<u>258,828</u>
固定資産合計	405,540	337,393
資産合計	<u>35,376,283</u>	<u>20,380,039</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,026	26,604
未払金	6,365,252	12,616,764
未払法人税等	201,259	141,552
賞与引当金	82,184	131,909
その他	213,749	169,125
流動負債合計	6,916,472	13,085,957
固定負債		
預り保証金	—	362,661
その他	44,380	55,622
固定負債合計	44,380	418,283
負債合計	6,960,853	13,504,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,113,422	16,113,422
資本剰余金	15,645,037	12,980,932
利益剰余金	△2,761,597	△21,966,290
自己株式	△634,095	△633,319
株主資本合計	28,362,767	6,494,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,197	60,739
その他の包括利益累計額合計	50,197	60,739
新株予約権	2,464	320,315
純資産合計	28,415,429	6,875,798
負債純資産合計	35,376,283	20,380,039

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	10,315,568	28,954,409
売上原価	3,082,370	16,951,781
売上総利益	7,233,198	12,002,627
販売費及び一般管理費	9,920,591	31,159,878
営業損失(△)	△2,687,393	△19,157,250
営業外収益		
受取利息	112	229
受取配当金	2,780	1,652
受取保険金	350	6,057
持分法による投資利益	11,566	15,868
助成金収入	17,176	10,884
その他	2,651	5,671
営業外収益合計	34,636	40,364
営業外費用		
支払利息	1,802	452
租税公課	1,402	—
為替差損	2	—
保険解約損	—	11,048
新株発行費	326,480	—
損害賠償金	649	17,938
その他	913	1,743
営業外費用合計	331,250	31,183
経常損失(△)	△2,984,007	△19,148,070
特別利益		
固定資産売却益	—	8
投資有価証券売却益	100,039	68
特別利益合計	100,039	76
特別損失		
固定資産除却損	95	69
減損損失	1,156,635	2,526,457
役員退職慰労金	—	100,000
その他	—	8,190
特別損失合計	1,156,730	2,634,717
税金等調整前当期純損失(△)	△4,040,699	△21,782,711
法人税、住民税及び事業税	78,480	85,918
法人税等調整額	57,472	380
法人税等合計	135,953	86,299
当期純損失(△)	△4,176,652	△21,869,010
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,176,652	△21,869,010

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純損失(△)	<u>△4,176,652</u>	<u>△21,869,010</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,527	10,541
その他の包括利益合計	△111,527	10,541
包括利益	<u>△4,288,180</u>	<u>△21,858,469</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	<u>△4,288,180</u>	<u>△21,858,469</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,113,382	651,365	1,562,423	△669,763	2,657,407
当期変動額					
新株の発行	15,000,040	15,000,040			30,000,080
剰余金の配当			△147,367		△147,367
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△4,176,652		△4,176,652
自己株式の処分		△6,368		35,668	29,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	15,000,040	14,993,671	△4,324,020	35,668	25,705,359
当期末残高	16,113,422	15,645,037	△2,761,597	△634,095	28,362,767

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	161,725	161,725	20,740	2,839,873
当期変動額				
新株の発行				30,000,080
剰余金の配当				△147,367
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△4,176,652
自己株式の処分				29,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△111,527	△111,527	△18,275	△129,803
当期変動額合計	△111,527	△111,527	△18,275	25,575,556
当期末残高	50,197	50,197	2,464	28,415,429

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	16,113,422	15,645,037	<u>△2,761,597</u>	△634,095	<u>28,362,767</u>
当期変動額					
欠損填補		△2,664,317	2,664,317		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			<u>△21,869,010</u>		<u>△21,869,010</u>
自己株式の処分		212		775	988
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△2,664,104	<u>△19,204,693</u>	775	<u>△21,868,022</u>
当期末残高	16,113,422	12,980,932	<u>△21,966,290</u>	△633,319	<u>6,494,744</u>

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	50,197	50,197	2,464	<u>28,415,429</u>
当期変動額				
欠損填補				—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				<u>△21,869,010</u>
自己株式の処分				988
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,541	10,541	317,850	328,391
当期変動額合計	10,541	10,541	317,850	<u>△21,539,631</u>
当期末残高	60,739	60,739	320,315	<u>6,875,798</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△4,040,699	△21,782,711
減価償却費	321,985	17,761
株式報酬費用	—	316,502
減損損失	1,156,635	2,526,457
固定資産除却損	95	69
固定資産売却損益 (△は益)	—	△8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△100,039	△68
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,321	30,036
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,151	49,725
受取利息及び受取配当金	△2,892	△1,882
新株発行費	326,480	—
支払利息	1,802	452
持分法による投資損益 (△は益)	△11,566	△15,868
売上債権の増減額 (△は増加)	86,467	△162,915
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,018	△2,961
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,904	△27,422
未収入金の増減額 (△は増加)	△2,785,653	△3,328,383
未払金の増減額 (△は減少)	3,265,027	6,129,601
その他	265,067	△114,044
小計	△1,505,701	△16,365,659
利息及び配当金の受取額	10,910	5,568
利息の支払額	△1,986	△452
法人税等の支払額	△80,957	△64,319
法人税等の還付額	78,821	5,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,498,913	△16,419,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,365	△108,584
無形固定資産の取得による支出	△534,785	△2,267,502
固定資産の売却による収入	—	8
投資有価証券の売却による収入	134,277	156
資産除去債務の履行による支出	—	△20,691
敷金及び保証金の差入による支出	△39,485	△57,262
敷金及び保証金の回収による収入	1,825	93,258
その他	△8,714	13,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,248	△2,346,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,400,000	—
短期借入金の返済による支出	△5,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,634	—
株式の発行による収入	29,673,599	—
自己株式の処分による収入	28,624	672
配当金の支払額	△147,377	△221
新株予約権の発行による収入	—	2,043
新株予約権の取得による支出	△17,599	—
その他	△4,991	△5,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,728,621	△3,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,780,456	△18,769,258
現金及び現金同等物の期首残高	2,185,728	28,966,185
現金及び現金同等物の期末残高	28,966,185	10,196,926

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「出前館事業」及び「通信販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

「出前館事業」は、主に宅配・デリバリー専門サイトの運営を行っており、「通信販売事業」は、主に高品質な焼酎を中心に、飲食店向けに通信販売する事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、減価償却費を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,384,364	931,203	10,315,568	—	10,315,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	84	410,217	410,302	△410,302	—
計	9,384,449	1,341,421	10,725,870	△410,302	10,315,568
セグメント利益又は損失(△)	△2,520,140	154,733	△2,365,407	△321,985	△2,687,393
セグメント資産	34,579,062	852,355	35,431,417	△55,134	35,376,283
セグメント負債	6,813,221	202,766	7,015,987	△55,134	6,960,853
その他の項目					
減価償却費	305,680	16,305	321,985	—	321,985
持分法適用会社への投資額	82,222	—	82,222	—	82,222
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	560,060	8,494	568,554	—	568,554

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△321,985千円は、報告セグメントの減価償却費△321,985千円であり
ます。

(2) セグメント資産の調整額△55,134千円は、セグメント間取引消去△55,134千円であり
ます。

(3) セグメント負債の調整額△55,134千円は、セグメント間取引消去△55,134千円であり
ます。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、連結損益計算書の営業損失と一
致しております。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>28,410,875</u>	543,533	<u>28,954,409</u>	—	<u>28,954,409</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	756,276	756,297	△756,297	—
計	<u>28,410,896</u>	1,299,810	<u>29,710,706</u>	△756,297	<u>28,954,409</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>△19,213,048</u>	73,558	<u>△19,139,489</u>	<u>△17,761</u>	<u>△19,157,250</u>
セグメント資産	<u>19,602,184</u>	861,584	<u>20,463,768</u>	△83,728	<u>20,380,039</u>
セグメント負債	<u>13,422,414</u>	165,554	<u>13,587,969</u>	△83,728	<u>13,504,240</u>
その他の項目					
減価償却費	<u>377</u>	17,383	<u>17,761</u>	—	<u>17,761</u>
持分法適用会社への投資額	94,405	—	94,405	—	94,405
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,475,221	34,977	2,510,198	—	2,510,198

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△17,761千円は、報告セグメントの減価償却費△17,761千円であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△83,728千円は、セグメント間取引消去△83,728千円であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△83,728千円は、セグメント間取引消去△83,728千円であります。
2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	合計
外部顧客への売上高	9,384,364	931,203	10,315,568

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	合計
外部顧客への売上高	28,410,875	543,533	28,954,409

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
減損損失	1,156,635	—	—	1,156,635

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
減損損失	2,526,457	—	—	2,526,457

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	345.59円	79.73円
1株当たり当期純損失(△)	△75.01円	△265.99円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	28,415,429	6,875,798
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,464	320,315
(うち新株予約権(千円))	(2,464)	(320,315)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	28,412,965	6,555,483
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	82,215,426	82,219,426

3. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△4,176,652	△21,869,010
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△4,176,652	△21,869,010
期中平均株式数(株)	55,680,830	82,217,782
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(資金調達)

当社は、2021年9月13日開催の取締役会において、海外募集による新株式発行及び自己株式の処分並びに第三者割当による新株式発行を行うことを決議し、2021年9月30日に払込が完了しております。その概要は次のとおりであります。

1. 海外募集による新株式発行

(1) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式	16,053,900株
(2) 発行価格	1株につき	1,736円
(3) 発行価格の総額		27,869,570,400円
(4) 払込金額	1株につき	1,666.56円
(5) 払込金額の総額		26,754,787,584円
(6) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額	13,377,393,792円
	増加する資本準備金の額	13,377,393,792円
(7) 払込期日		2021年9月30日

2. 海外募集による自己株式の処分

(1) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式	3,240,000株
(2) 処分価格	1株につき	1,736円
(3) 処分価格の総額		5,624,640,000円
(4) 払込金額	1株につき	1,666.56円
(5) 払込金額の総額		5,399,654,400円
(6) 払込期日		2021年9月30日

3. Zホールディングス株式会社及びNAVER Corporationを割当先とする第三者割当による新株式発行

(1) 発行する株式の種類及び数	Zホールディングス株式会社：	
	当社普通株式	19,158,900株
	NAVER Corporation：	
	当社普通株式	10,368,600株
(2) 払込金額	1株につき	1,736円
(3) 払込金額の総額		51,259,740,000円
(4) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額	25,629,870,000円
	増加する資本準備金の額	25,629,870,000円
(5) 払込期日		2021年9月30日

4. 資金の使途

今回の海外募集による新株式発行及び自己株式の処分並びに第三者割当による新株式発行に係る手取額合計約830億円について、2024年2月末までに約680億円をマーケティング資金に、2024年2月末までに100億円を設備資金(システム強化/開発資金)に、2024年2月末までに50億円を配達員増強資金に充当する予定であります。